

生活保護と日本の貧困問題 第2回

働く世代の貧困問題と生活保護法改正

近年、高齢者、障がい者、母子世帯などに加え、雇用条件・労働環境の劣悪化により、多くの働く世代が貧困に陥り、生活保護を最後の支えとする状況に追い込まれています。

さらにこの8月から、生活保護の扶助基準の切り下げが始まりました。また、成立目前で廃案となった生活保護法の改正案が、国会に再上程される予定です。これら政策の狙いは何でしょうか。貧困に対するセーフティネットとして、今や唯一機能している生活保護の抑制や縮小であることは明らかです。“貧困の連鎖”を断ち切るのではなく、助長する制度改革です。

今回のアドボカシーカフェでは、6月に開催した「生活保護の現場から見る日本の貧困問題」の第2弾として、働く世代の貧困問題の解決の糸口について、生活保護法改正を手がかりにして考えていきます。

■登壇：

ゲスト；川村 遼平 さん



NPO 法人 POSSE 事務局長、1986年生まれ、労働相談を中心に若者の貧困・格差問題に取り組んでいる。東京大学大学院総合文化研究科・博士課程在籍。共著に、森岡孝二編『就活とブラック企業』、今野晴貴・川村遼平『ブラック企業に負けない』、児美川孝一郎編『これが論点！ 就職問題』。

コメンテーター；嘉山 隆司 さん



1977年新宿区役所に入区し、以来、管理部門にいた2年を除き福祉事務所で生活保護ケースワーカーとして主にホームレスの相談・支援に従事。2013年3月定年退職。現在、「居場所」作りを目指し、4月末からCafeをオープン。

モデレーター： 辻 利夫（ソーシャル・ジャスティス基金運営委員、認定NPO法人まちぽっと事務局長）

■日 時： 9月24日（火）18：30～21：00（18：15開場）

終了後、会場近くにて懇親会を開催します。どうぞご参加ください。

■場 所： 文京シビックセンター 4F シルバーホール

東京都文京区春日1-16-21(丸ノ内線・後楽園駅1分、三田線/大江戸線・春日駅1分)  
[http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki\\_busyo\\_shisetsukanri\\_shisetsu\\_civic.html](http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_shisetsukanri_shisetsu_civic.html)

■資料代： 一般1,000円 学生 500円

■主 催： ソーシャル・ジャスティス基金

〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル501 認定NPO法人まちぽっと

<http://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp 電話 03-5941-7948



■ご参加受付： Web サイト <https://socialjustice.jp/20130924.html>